

日本音楽著作権協会いではく会長より 感謝状が贈呈されました

2019年1月31日（木）、『北国の春』などの作詞者、いではく日本音楽著作権協会（JASRAC）会長が、北九州市の「クラブ美松」（熊野一雄代表）と福岡市の「フジキスタジオ」（藤木悠祁生オーナー）を訪れ、長年にわたるJASRACとの契約に感謝の意を表して感謝状を手渡しました。



熊野代表といではく会長



いではく会長と藤木さん

この感謝状は、音楽著作権の契約を30年以上継続している長期契約者に対しJASRACから贈呈されたもので、初めてとなる今年度は、全国で2,163者（うち県連合会の加入施設46者）が対象となりました。